



**神奈川県中小企業診断協会賞 ②**      **リンクイノベーションズ 株式会社**

1 タイトル / 2 概要 / 3 動機 / 4 解決に向けた具体策・成果      企業規模：中小企業 / 業種：情報通信業 / 地域：横浜地域

**1 複雑な産業廃棄物の管理を誰でも簡単に！**

**2**

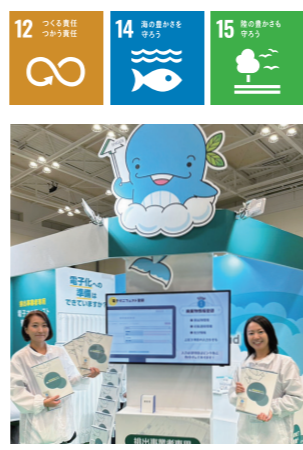
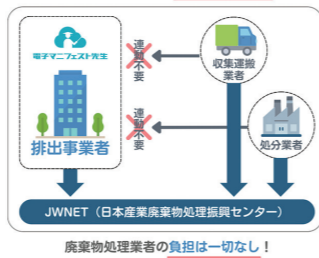
- 産業廃棄物を排出した場合、最終処分されるまで**排出事業者責任**と法律で定められているが、実際にはその管理を**業者任せ**にしている事業者が多く、現状、自社の**廃棄物の状況や排出量の把握**が出来ていなかった。
- **契約書やマニフェスト伝票の紛失**が多く、5年間保管など**管理が煩雑**。
- 廃棄物の帳簿管理等の事務作業に**手間と時間を要**していた。

**3**

- **排出事業者自身**で電子マニフェスト (JWNET連動) の登録、煩雑な産業廃棄物の管理を**カンタン**に出来るよう**“電子マニフェスト先生”**を開発・販売を行うこととした。
- CO<sub>2</sub>排出量やリサイクル率を可視化し、**環境経営等に貢献**できるシステムを目指した。

**4**

- **産業廃棄物の管理を一元化**できることにより、**契約書やマニフェスト紛失の心配が無くなった**。
- 電子マニフェスト (JWNET) を使用していたが操作が難しく諦めていた方も、入力必須項目アシスト機能等、**誰でも安心して**操作できるよう工夫を講じた結果、**DX化へのハードルが下がり、普及率が上がっている**。
- **場所や端末を問わずマニフェストの発行・管理・集計が可能になり**、引継ぎもカンタンに行える等、**業務効率が約90%向上**した。

電子マニフェスト先生は、排出事業者専用です

JWNET (日本産業廃棄物処理振興センター)

廃棄物処理業者の負担は一切なし！

# かながわ みんなのSDGs

## 令和5年度 受賞パートナー

SDGsの取組を進めている又はこれから取り組もうという企業・団体等に対し、ヒントとなるような取組を「見える化」することで、SDGsの取組拡大を後押しするため、かながわSDGsパートナーからSDGsに関連する取組を募集しました。その結果、45の企業・団体等から67事例が集まり、特に他者の参考となると思われる5事例を表彰しました。

- **みんなのSDGs賞 : 3者**  
取り組みやすい事例をパートナーによる投票にて選定
- **神奈川県中小企業診断協会賞 : 2者**  
神奈川県中小企業診断協会が、中小企業診断士の知見から社会課題への貢献度を評価

かながわSDGsパートナーが行うSDGsに向けた取組のうち、下記の視点の一つでも該当する取組を募集します。

取組の視点	① <b>ぴぴっとくる</b>	他の企業・団体等へのヒントあるいは取り組むきっかけとなるような内容であるか
	② <b>実施効果</b>	組織、事業、人材、社会等に良い結果を与えているか
	③ <b>取り組みやすさ</b>	他の企業・団体等において幅広くロールモデルとなるか
	④ <b>費用・労力</b>	多大な資金、人材を要さずとも実現可能な取組であるか
	⑤ <b>継続性</b>	自社の本業を通じた取組で企業価値 (人材確保、ブランド力等) を高めているか

**かながわSDGsパートナーとは**

SDGsの取組等を実施している企業・団体等を「かながわSDGsパートナー」として登録し、本県とパートナーが連携して取組等を行うとともに、パートナー間の連携を本県が後押しすることで、県内のSDGsに関する取組や事業を促進します。

**メリット**

- パートナーミーティングを通じたマッチング
- 県の中小企業制度融資による支援
- 県による対外的な広報・アピール
- 中小企業のSDGs経営支援
- 県施策に関する情報提供等



かながわ SDGsパートナー▶



問合せ先：神奈川県いのち・未来戦略本部室 SDGs 推進グループ  
TEL : 045-285-0909

私たち一人ひとりの行動が、未来につながる。  
SDGs 未来都市 神奈川県

## かながわ みんなのSDGs賞 ①

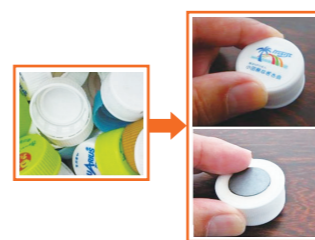
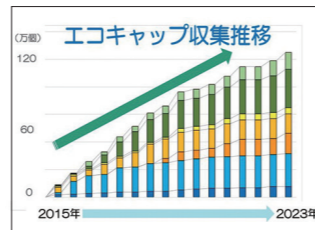
認定NPO法人 小田原なぎさ会

1 タイトル / 2 概要 / 3 動機 / 4 解決に向けた具体策・成果

企業規模：NPO / 業種：福祉 / 地域：小田原地域

### 1 障害者が作るアップサイクル (Upcycle) 自主製品『エコマグネット』の創出と販売推進

- 運営施設に通所する利用者(障害者)たちが自主活動として継続的に取り組んでいる**エコキャップ活動**では、現在(令和5年9月時点)までに120万個超の収集(ポリオワクチン換算2,700名分)を達成。
  - 収集したキャップの一部を活用した環境に優しい『**エコマグネット**』は、『**使用済みから、新たな価値ある製品**』を生み出すことで、自然保護と共に障害福祉の推進に寄与している。
- 通所する障害者たちが一つでも成功を体験することで『**自信**』につながるのではないかの想いから、『**私達も誰かを支援できる!!**』を合言葉に、通所する障害者たちの自主活動として2015年から開始した**エコキャップ活動**。
  - そんな中、コロナ禍に突入して、『**施設での受託作業が激減**』。障害者たちの**作業と工賃確保が最大の課題**に!!!
- この状況打破に向け創出したのが『**エコマグネット**』。2020年7月の創出から3年間で6,000個以上の製作・販売を達成!!!
  - コロナ禍での作業を確保すると共に、SDGsに深くつながる製品(**共生社会実現・自然保護・ワクチン支援等**)として多くの共感と応援をいただき、持続可能な活動に成長した。更に認知度を高め、販売拡大を目指す。



## かながわ みんなのSDGs賞 ③

公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院

1 タイトル / 2 概要 / 3 動機 / 4 解決に向けた具体策・成果

企業規模：中小企業 / 業種：医療 / 地域：横須賀三浦地域

### 1 心臓リハビリテーションハイキング × 清掃活動で健康増進と環境保全に貢献

- 当院では心臓病の患者さんが病気を克服し、より気軽に楽しく健康が維持できるように、循環器内科医師、看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、医療相談員、事務職が一丸となり**心臓リハビリテーションハイキング**を開催。
  - ハイキングゴール地では管理栄養士による**栄養指導教室**を開催したり、**参加者と清掃活動**を行ったりしている。
  - あらゆる年齢のすべての人々が心身ともに健康な生活を送ることができるよう、そして長く住み続けられる街づくりに取り組んでいる。
- 心臓リハビリテーションは心臓病を有する人の生活の質改善と生命予後を伸ばす効果がある。
  - 2004年から運動療法におけるモチベーション向上のためにハイキングやゴルフ等のスポーツイベントを多職種で企画し、今年で19年目を迎えた。
  - 『**Exercise is Medicine.**』を合言葉に**各職種が専門性を発揮**し、豊かな人生を送っていただけるよう力を尽くしている。
- ハイキング後のアンケートでは『**自身の健康状況を確認できる機会になった**』、『**適度なハイキングで運動不足が解消でき、引き続き体力づくりをしたい**』等の高い効果を感じられる感想が毎回多くあり、多職種での継続的な健康増進支援を達成している。



## かながわ みんなのSDGs賞 ②

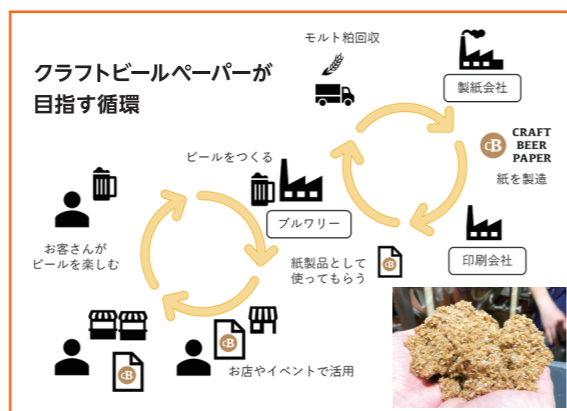
株式会社 kitafuku

1 タイトル / 2 概要 / 3 動機 / 4 解決に向けた具体策・成果

企業規模：中小企業 / 業種：情報通信 / 地域：横浜地域

### 1 アップサイクル再生紙「クラフトビールペーパー」

- クラフトビールの醸造過程で発生する**モルト粕**をアップサイクルした再生紙「クラフトビールペーパー」の開発、販売。
  - 主に神奈川県ブルワリーからモルト粕を回収し、お客様のニーズに合わせた紙製品の開発と販売を行っている。
  - 神奈川県内の飲食店、商業施設での利用や子ども向けのSDGs普及イベントなどで幅広く活用。
- 神奈川県は、全国で2番目にクラフトビールのブルワリーが多いと言われている。
  - 一度のビール製造に約300kgのモルト粕を排出することもあり、この大量の副産物を課題に感じているブルワリーも多い。
  - ビールを楽しむお客様の手に届く製品に出来ないかと、製紙技術を持つパートナー企業と連携し、開発を行った。
- クラフトビールの醸造過程で発生するモルト粕を再利用して紙を製造し、アップサイクルする。
  - これまでに回収したモルト粕は累計で1,400kgを突破。
  - 主に県内の企業や飲食店で、ギフトボックスやメニュー表などに活用されている。導入社数は全国で100社以上。
  - 手軽に取り入れられる名刺が特に好評となっている。



## 神奈川県中小企業診断協会賞 ①

株式会社 Jバイオフードリサイクル

1 タイトル / 2 概要 / 3 動機 / 4 解決に向けた具体策・成果

企業規模：中小企業 / 業種：食品リサイクル業 / 地域：横浜地域

### 1 食品ごみを電気と肥料にリサイクル!

- 食品ごみから微生物の力(メタン発酵)でバイオガスを生み出し、発電に利用し**再エネ電気**を創出している。さらに発酵残渣は肥料になり、農地で利用されている。
  - 排出事業者に**電気と肥料**でできた農作物を提供する『**ダブルリサイクル**』を通じて、環境負荷低減、循環型社会に貢献できる。
- スーパー、コンビニ、レストラン等から出る食品ごみは容器やはしなどの異物が多く、分別の手間がかかるため飼料化・肥料化には不向きとされ焼却処理されてきた。
  - 『**容器包装プラ等の異物が混在する食品ごみ**』もそのまま受け入れ処理できる、食品リサイクル(メタン化)に着手した。
- **食品リサイクル率UP**に貢献(排出事業者 350社)
  - **食品ごみから再エネ電気を創出**(約1,700万kWh/年、一般家庭5,700世帯分)
  - **CO2排出量削減効果 約7,700t/年**
  - **ダブルリサイクルの構築により 地域循環共生圏を創造**

